

2025 年度
青山学院大学大学院
会計プロフェッション研究科
会計プロフェッション専攻

1 年制・1 年半制

入学試験要項

(2025 年 9 月入学者対象)



青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人ともに仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、
時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

会計プロフェッション専攻 教育研究上の目的

会計プロフェッション研究科では、キリスト教理念に基づく教育の実現を理念に掲げ、高度な職業倫理性と専門的能力、国際人としての資質を十分に備えた会計プロフェッションを養成する。

アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

会計プロフェッション研究科の教育理念を具現化する学生は、以下のとおりである。

【知識・技能】

- ・全学生共通:会計に関する基礎的素養(日本商工会議所簿記検定2級程度の学力)を有している。
- ・2年制:大学卒業程度の簿記・会計に関する基礎的な勉強経験を有している。
- ・2年制(外国人留学生):大学院での講義・演習の受講に支障のない日本語の能力を有している。
- ・1年制・1年半制:大学・大学院での学習や実務経験を通じて、簿記・会計に関する基礎的な知識を有している。

【思考力・判断力・表現力】

- ・全学生共通:経済・企業社会等の情勢を常に把握し、それに基づき経済活動や企業行動のあり方について思考している。
- ・2年制:会計の理論のみでなく、実務についても関心をもっており、理論と実務の融合について思考している。
- ・1年制・1年半制:会計の理論について強い関心をもっており、理論と実務の融合について思考している。

【態度】

- ・全学生共通:・会計プロフェッショナルの職業倫理や各種の会計マインドを真摯に学ぼうとする姿勢を有している。
・広い会計専門職領域から学ぼうとする特定の目標が明確である。
- ・2年制:修了後の進路について、一定の具体的な方向性が明確である。

カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

本研究科では、「倫理教育の徹底」と「国際人の養成」を2本の柱とした「健全な会計マインドを備えたプロフェッション」の育成を目的として、下記に示す教育課程を編成する。

- ・国際会計士連盟(IFAC)の職業会計士国際基準に合致するとともに、公認会計士試験制度(短答式一部免除)に合致した教育課程
- ・高度な職業倫理観の涵養を目的とした、職業倫理、企業倫理及びコーポレートガバナンスに関する教育
- ・国際的感覚を備えた専門職業人の育成を目的とした、国際会計基準及び英語に関する教育
- ・会計プロフェッションとして求められる思考力・判断力・表現力の涵養を目的とした、少人数制の演習、論文作成指導及びディベートを重視した教育
- ・健全かつ実践的な会計マインドの涵養を目的とした、実務家教員による教育と、監査法人、公認会計士事務所及び税理士事務所でのエクスターンシップによる教育

○会計監査プログラム

- ・財務会計、管理会計及び監査論に関する専門知識を修得し、適用能力を高めるための教育課程
- ・実務における諸課題に対する問題発見力と解決力を高める、実践的な事例研究(ケーススタディ)による教育

○税務マネジメントプログラム

- ・税務専門家に必要な租税法規に関する専門的知識を修得し、適用能力を高めるための、各税目ごとの教育課程
- ・税務専門家に必要な財務マネジメントに関する専門知識を修得し、適用能力を高めるための教育課程
- ・税務専門家としての土台を形成するための、租税法規の基礎概念や申告・納税等に関する手続実務に関する基礎的な教育

ディプロマポリシー(修了認定・学位授与の方針)

○会計監査プログラム

【目指すべき人材像】

- ・会計監査に関する専門的能力、高度な職業倫理性及び国際人としての資質を十分に備えた会計プロフェッション

【知識・技能】

- ・財務会計、管理会計、監査及び企業法に関する専門基礎理論を修得している。
- ・国際的な会計や監査といった、会計プロフェッションの実務に係わる国際的なルールや考え方に対する一定の理解力をもっている。

【思考力・判断力・表現力】

- ・会計監査の実務に必要な専門領域について論理的な思考力が備わっている。
- ・監査の理論的考え方と実務的な状況に対応して一定の判断ができる。
- ・財務会計、管理会計、監査及び企業法に関する専門基礎理論に基づく高度なコミュニケーションを行う能力が備わっている。

【意欲・関心・態度】

- ・会計プロフェッションとしての職業倫理と会計マインドが身に付いている。

○税務マネジメントプログラム

【目指すべき人材像】

- ・税務マネジメントに関する専門的能力、高度な職業倫理性及び国際人としての資質を十分に備えた会計プロフェッション

【知識・技能】

- ・租税法規、財務マネジメント及び企業法に関する専門基礎理論を修得している。
- ・国際的な会計や監査といった、会計プロフェッションの実務に係わる国際的なルールや考え方に対する一定の理解力をもっている。

【思考力・判断力・表現力】

- ・税務マネジメントの実務に必要な専門領域について論理的な思考力が備わっている。
- ・監査の理論的考え方と実務的な状況に対応して一定の判断ができる。
- ・租税法規、財務マネジメント及び企業法に関する専門基礎理論に基づく高度なコミュニケーションを行う能力が備わっている。

【意欲・関心・態度】

- ・会計プロフェッションとしての職業倫理と会計マインドが身に付いている。

入試種別による入学後の取扱いについて

入試種別	プログラム (カリキュラム区別)	入学後の修業年限／コース	授与学位
1 年制入試	会計監査 プログラム	リカレント・コース 1 年制	会計監査修士（専門職）
1 年半制入試		キャリアアップ・コース 1 年半制	
1 年制入試	税務マネジメント プログラム	リカレント・コース 1 年制	税務マネジメント修士 （専門職）
1 年半制入試		キャリアアップ・コース 1 年半制	

※ 1 年半制入試で、「リサーチ・ペーパー希望者審査」で出願をする際は、以下の区分に従って、プログラムを選択してください。

「会計学」（監査、原価計算を含む）に関するリサーチ・ペーパー執筆希望者：会計監査プログラム
「税法」に関するリサーチ・ペーパー執筆希望者：税務マネジメントプログラム

目 次

1 年制入学試験（リカレント・コース 1 年制）

1. 目的（趣旨）	1
2. 概要	1
3. 出願資格	1
4. 審査方法	2
5. 合格判定の方法および基準	2
6. 出願書類	3

1 年半制入学試験（キャリアアップ・コース 1 年半制）

1. 目的（趣旨）	5
2. 概要	5
3. 出願資格	5
4. 審査方法	6
5. 合格判定の方法および基準	6
6. 出願書類	7

両入試種別共通

1. 入試日程	9
2. 試験会場	9
3. 出願方法	9
4. 出願時の注意事項	10
5. 入学検定料	10
6. 合格発表	13
7. 入学手続	13
8. 「入学辞退願」提出について	13
9. 学費等	14
10. 授業料後払い制度について	15
11. 奨学金と教育ローンについて	15
12. 履修について	16
13. 修了要件について	17
14. 注意事項	17
15. 個人情報の取扱いについて	17

1 年制入学試験（リカレント・コース 1 年制）

1. 目的（趣旨）

会計プロフェッション研究科は、青山学院の真理を謙虚に追求する教育方針を具現化し、「倫理教育の徹底」と「国際人の養成」を 2 本の柱とした「健全な会計マインドを備えたプロフェッション」の育成を目指す教育理念に基づいた教育を行なう。この教育方針および教育理念を理解し、自己の確立した目標に向かって学修に邁進する学生を募集するものである。

2. 概要

募集区分： アカデミック・リサーチ審査

修業年限： 1 年

カリキュラム区分： ①会計監査プログラム ②税務マネジメントプログラム

（出願時に選択してください。その後の変更はできません。）

募集人数： 10 名程度

※合格者は、「アカデミック・リサーチⅠ・Ⅱ」が必修科目となり、アカデミック・リサーチの合格が修了要件となります。

3. 出願資格

出願時において、次の①～⑦のいずれかに該当し、かつ（１）～（８）のいずれかに該当する者

①公認会計士 ②税理士 ③米国公認会計士 ④弁護士

⑤公認会計士試験論文式試験合格者 ⑥税理士試験（５科目）合格者 ⑦米国公認会計士試験合格者

（１）大学を卒業した者および2025年9月卒業見込の者

（２）大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者および2025年9月までに授与見込の者

（３）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2025年9月までに卒業見込の者

（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2025年9月までに修了見込の者

（５）日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2025年9月までに修了見込の者

（６）外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者

（７）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2025年9月までに修了見込の者

（８）文部科学大臣の指定した者

（９）本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に22歳に達した者

※出願資格（９）により出願を希望する方、自らに出願資格があるかどうか定かではない方は、以下のとおり期日までに出願書類を専門職大学院教務課へ郵送してください。（入学資格審査時点では、入学検定料の納入は不要です）。審査により出願を許可された方は、提出書類に関し、正式な出願書類として受理します。

【個別の入学資格審査受付締切日】

2025 年 6 月 6 日（金）必着

※各試験の出願資格を満たしていれば、同一日実施の別種別の入試との併願は可能です。

4. 審査方法

書類審査

口述試験（日本商工会議所簿記検定試験 2 級と 3 級の試験範囲となっている商業簿記・工業簿記の内容から数問出題し、口頭で説明させる。具体的には、専門用語の意味、財務諸表の構成、計算方法、会計処理および仕訳の中から出題する。）

5. 合格判定の方法および基準

提出書類および口述試験により、アドミッションポリシーで定める知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度を多面的・総合的に評価し、可否を判定します。

6. 出願書類

手書きの場合は、黒のペンまたはボールペンで記入してください。消すことのできるペン（フリクションペン）、鉛筆での記入は不可です。

下記の書類を準備して、**両入試種別共通**「3. 出願方法」を参照し、出願してください。

①出願書類チェックリスト [所定用紙 No. 1]	提出する書類の項目にチェックを記入の上、1 枚目として使用してください。
②入学志願票 [所定用紙 No. 2]	* 所定欄に写真を貼付。縦 4 cm×横 3 cm、最近 3 カ月以内に撮影したカラー写真（上半身・正面・脱帽・無背景）で、表面が光沢面のものに限ります。（スナップ写真、白黒写真、カラーレンズの眼鏡、眼が隠れる髪型は不可） * 写真の裏面に氏名を記入してください。 * 入学手続きの際に別途提出する学生証用の写真も、出願時と同じ写真を提出してください。 * 「資格等」欄に取得資格を記入する場合は、各種証明書の写しを提出してください。（→⑦へ） * 外国籍の方の本人氏名は、必ずパスポートまたは住民票に記載されたアルファベット氏名を大文字で記入、フリガナをカタカナで記入してください。また、通称名は使用しないでください。
③入学志望理由書 [所定用紙 No. 3]	* 本研究科の志望理由、自己アピール等について、1,500 字程度。 * 枠内に収まらない場合、収まらない分を 2 枚目（A4 印刷）として、ホチキス留めして提出してください。
④最終学歴の卒業（修了）証明書 または卒業（修了）見込証明書	原本を提出してください。（コピー不可、厳封不要） * 成績証明書に卒業（修了）年月の記載があれば、提出不要です。 * 大学院修了（見込）者は、大学と大学院の該当する証明書を提出してください。 * 外国の大学を卒業した者で学位を取得している場合は、卒業証明書の他に「学位取得証明書」も併せて提出が必要です。（→⑥へ） * 本学出身者の証明書は専門職大学院教務課で代理発行するため、提出不要です。
⑤最終学歴の成績証明書	原本を提出してください。（コピー不可、厳封不要） * 大学院修了（見込）者は、大学と大学院の成績証明書を提出してください。 * 編入学した者や単位認定を受けた者は、以前の大学・短期大学の成績証明書も提出してください。 * 本学出身者の証明書は専門職大学院教務課で代理発行するため、提出不要です。
⑥最終学歴の学位取得証明書 【外国の大学を卒業した方のみ必須】	原本を提出してください。（コピー不可、厳封不要） * ④または⑤に学位の記載がある場合は、提出不要です。

⑦取得資格の証明書 【「②入学志願票」の「資格等」欄に記入した方は必須】	* 「②入学志願票」の「資格等」欄に取得資格を記入した方は、各種証明書の写しを提出してください。
⑧所属組織の直属の上司の推薦書 【提出可能な方のみ】	書式自由、厳封不要。提出は任意です。 * 作成者の押印または署名が必要です。
⑨パスポートの写し 【外国籍の方のみ必須】	* 「顔写真」「氏名」「ローマ字氏名」「国籍」「パスポート番号」「有効期限」の確認できるページを、はっきりと読み取れるようにコピーしてください。
⑩入学検定料支払書類貼付用紙 〔所定用紙 No. 5〕	<u>両入試種別共通</u> 「5. 入学検定料」に従って検定料を納入してください。
⑪写真票・宛名ラベル〔所定用紙 No. 6〕	* 写真票の写真は、「②入学志願票」と同じ写真を貼り付けてください。 * 切り離さずに、A4 用紙のまま提出してください。
⑫出願資格を証明する書類	1 頁「3. 出願資格」の①～⑦のうちいずれかについて、取得を証明できる原本、もしくは、本学にて「原本照合印」を受けた証明書等の写しを提出してください。

※ 改姓等により、証明書等の記載氏名が現在の氏名と異なる場合は、10 頁の両入試種別共通「4. 出願時の注意事項」を参照し、所定の手続をお取りください。

【注意】

「入学志望理由書」を作成するにあたり、ChatGPT 等の生成系 AI が生成した文章等を自分自身が作成したものとして使用しないこと。

1 年半制入学試験（キャリアアップ・コース 1 年半制）

1. 目的（趣旨）

会計プロフェッション研究科は、青山学院の真理を謙虚に追求する教育方針を具現化し、「倫理教育の徹底」と「国際人の養成」を 2 本の柱とした「健全な会計マインドを備えたプロフェッション」の育成を目指す教育理念に基づいた教育を行なう。この教育方針および教育理念を理解し、自己の確立した目標に向かって学修に邁進する学生を募集するものである。

2. 概要

募集区分： ①一般審査 ②リサーチ・ペーパー希望者審査

修業年限： 1 年半

カリキュラム区分： ①会計監査プログラム ②税務マネジメントプログラム

（出願時に選択してください。その後の変更はできません。）

募集人数： 25 名程度（2025 年 4 月入学者と合わせて）

* 博士後期課程への進学や学位による税理士試験科目の一部免除を希望している場合等で、入学後にリサーチ・ペーパーの作成を希望する場合は、出願書類の「研究計画書」を提出してください。一般審査に加え、「研究計画書」による書類審査および口述試験の対象となります。

なお、入学後は、「リサーチ・ペーパーⅠ～Ⅲ」が必修科目となり、リサーチ・ペーパーの合格が修了要件となります。

「一般審査」による入学者は、「リサーチ・ペーパーⅠ～Ⅲ」を履修することはできません。

3. 出願資格

出願時において、会計・税務等に関連する実務経験を通算 3 年以上有する者で、以下のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者および2025年9月卒業見込の者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者および2025年9月までに授与見込の者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2025年9月までに卒業見込の者
- (4) 外国の学校が行なう通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2025年9月までに修了見込の者
- (5) 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2025年9月までに修了見込の者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2025年9月までに修了見込の者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に22歳に達した者

※出願資格（９）により出願を希望する方、自らに出願資格があるかどうか定かではない方は、以下のとおり期日までに出願書類を専門職大学院教務課へ郵送してください。（入学資格審査時点では、入学検定料の納入は不要です）。審査により出願を許可された方は、提出書類に関し、正式な出願書類として受理します。

【個別の入学資格審査受付締切日】

2025 年 6 月 6 日（金）必着

※各試験の出願資格を満たしていれば、同一日実施の別種別の入試との併願は可能です。

4. 審査方法

書類審査

口述試験（日本商工会議所簿記検定試験 2 級と 3 級の試験範囲となっている商業簿記・工業簿記の内容から数問出題し、口頭で説明させる。具体的には、専門用語の意味、財務諸表の構成、計算方法、会計処理および仕訳の中から出題する。）

5. 合格判定の方法および基準

提出書類および口述試験により、アドミッションポリシーで定める知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度を多面的・総合的に評価し、可否を判定します。

6. 出願書類

手書きの場合は、黒のペンまたはボールペンで記入してください。消すことのできるペン（フリクションペン）、鉛筆での記入は不可です。

下記の書類を準備して、**両入試種別共通**「3. 出願方法」を参照し、出願してください。

①出願書類チェックリスト [所定用紙 No. 1]	提出する書類の項目にチェックを記入の上、1 枚目として使用してください。
②入学志願票 [所定用紙 No. 2]	* 所定欄に写真を貼付。縦 4 cm×横 3 cm、最近 3 カ月以内に撮影したカラー写真（上半身・正面・脱帽・無背景）で、表面が光沢面のものに限ります。（スナップ写真、白黒写真、カラーレンズの眼鏡、眼が隠れる髪型は不可） * 写真の裏面に氏名を記入してください。 * 入学手続きの際に別途提出する学生証用の写真も、出願時と同じ写真を提出してください。 * 「資格等」欄に取得資格を記入する場合は、各種証明書の写しを提出してください。（→⑧へ） * 外国籍の方の本人氏名は、必ずパスポートまたは住民票に記載されたアルファベット氏名を大文字で記入、フリガナをカタカナで記入してください。また、通称名は使用しないでください。
③入学志望理由書 [所定用紙 No. 3]	* 本研究科の志望理由、自己アピール等について、1,500 字程度。ただし、リサーチ・ペーパー希望者審査受験者は、1,000 字程度。 * 枠内に収まらない場合、収まらない分を 2 枚目（A4 印刷）として、ホチキス留めして提出してください。
④研究計画書 [所定用紙 No. 4] 【リサーチ・ペーパー希望者審査 受験者のみ 必須】	* 3,000 字程度。（参考文献は字数に含めない） * 枠内に収まらない場合、収まらない分を 2 枚目（A4 印刷）として、ホチキス留めして提出してください。
⑤最終学歴の卒業（修了）証明書 または卒業（修了）見込証明書	原本を提出してください。（コピー不可、厳封不要） * 成績証明書に卒業（修了）年月の記載があれば、提出不要です。 * 大学院修了（見込）者は、大学と大学院の該当する証明書を提出してください。 * 外国の大学を卒業した者で学位を取得している場合は、卒業証明書の他に「学位取得証明書」も併せて提出が必要です。（→⑦へ） * 本学出身者の証明書は専門職大学院教務課で代理発行するため、提出不要です。
⑥最終学歴の成績証明書	原本を提出してください。（コピー不可、厳封不要） * 大学院修了（見込）者は、大学と大学院の成績証明書を提出してください。 * 編入学した者や単位認定を受けた者は、以前の大学、短期大学の成績証明書も提出してください。 * 本学出身者の証明書は専門職大学院教務課で代理発行するため、提出不要です。

⑦最終学歴の学位取得証明書 【外国の大学を卒業した方のみ必須】	原本を提出してください。（コピー不可、厳封不要） ＊⑤または⑥に学位の記載がある場合は、提出不要です。
⑧取得資格の証明書 【「②入学志願票」の「資格等」欄に記入した方は必須】	＊「②入学志願票」の「資格等」欄に取得資格を記入した方は、各種証明書の写しを提出してください。
⑨所属組織の直属の上司の推薦書 【提出可能な方のみ】	書式自由、厳封不要。提出は任意です。 ＊作成者の押印または署名が必要です。
⑩パスポートの写し 【外国籍の方のみ必須】	＊「顔写真」「氏名」「ローマ字氏名」「国籍」「パスポート番号」「有効期限」の確認できるページを、はっきりと読み取れるようにコピーしてください。
⑪入学検定料支払書類貼付用紙 〔所定用紙 No. 5〕	<u>両入試種別共通</u> 「5. 入学検定料」に従って検定料を納入してください。
⑫写真票・宛名ラベル〔所定用紙 No. 6〕	＊「②入学志願票」と同じ写真を貼り付けてください。 ＊切り離さずに、A4 用紙のまま提出してください。
⑬出願資格を証明する書類	＊会計・税務等に関連する通算 3 年以上の実務経験を有していることを証明する、在職証明書の原本や健康保険証の写し、もしくは、社員証の写し（いずれも本人氏名と社名等が明示されているもの）を提出してください。 ＊現在、勤務している企業等の組織で、会計・税務等に関連する通算 3 年以上の実務経験が満たない場合には、それ以前の実務経験を証明する、以下のいずれかの書類を併せて提出してください。 ・退職証明書（本人氏名、社名、公印、在職期間が明示されているもの） ・年金記録やねんきん定期便等の写し（本人氏名、社名、在職期間が明示されているもの）
⑭職務経歴書	書式自由。 ＊会計・税務等に関連する実務経験であることが確認できるように、担当年月、部署、担当業務等について雇用形態（正規・非正規）も含め記入してください。

※ 改姓等により、証明書等の記載氏名が現在の氏名と異なる場合は、10 頁の両入試種別共通「4. 出願時の注意事項」を参照し、所定の手続をお取りください。

【注意】「入学志望理由書」、「研究計画書」を作成するにあたり、ChatGPT 等の生成系 AI が生成した文章等を自分自身が作成したものとして使用しないこと。

両入試種別共通

1. 入試日程

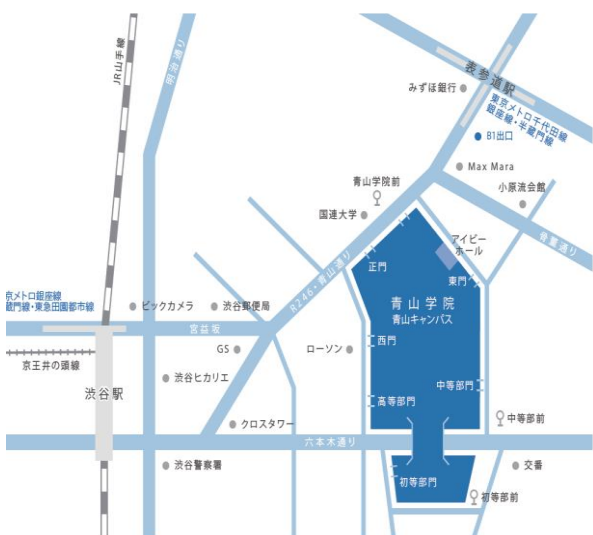
出願期間	2025 年 6 月 12 日 (木) ～ 6 月 19 日 (木)	最終日消印有効 (国際郵便は必着)
試験 日	2025 年 7 月 5 日(土)・6 日(日)	予備日：7 月 12 日(土)・13 日(日)
合格発表	2025 年 7 月 11 日 (金) 13:00	予備日：7 月 18 日 (金)

- ①試験日における口述試験の実施予定時間等は、受験票にてお知らせします。
- ②予備日は、台風、大雪、地震等により、入学試験を実施できない場合の予備日程です。

2. 試験会場

青山学院大学 青山キャンパス 16号館 (会計専門職大学院棟)

青山キャンパス建物配置



3. 出願方法

すべて郵送受付（締切日消印有効）とします。〔所定用紙No. 7〕出願用封筒表紙を角形2号封筒に貼付のうえ、郵便局窓口で簡易書留・速達郵便扱いの手続きをして送付してください。

ただし、海外住所から国際郵便で申込む場合は締切日当日必着となります。

なお、各所定用紙は会計プロフェッション研究科ホームページからダウンロードしたものを印刷して使用してください。

所定用紙のダウンロードはこちら：<https://www.gspa.aoyama.ac.jp/admission/entrance.html>

- ①出願書類、入学検定料等に不備があった場合は、受験できないことがありますので漏れのないよう確認のうえ、郵送してください。
- ②受験票は、出願書類の〔所定用紙No. 6〕受験票/合格通知発送用 宛名ラベル に記載された住所へ郵送します。入学試験日の2日前までに受験票が届かない場合は、専門職大学院教務課に問い合わせてください。
- ③出願締切日を過ぎた消印のものは、受理せず返送します。

4. 出願時の注意事項

- ①一旦受け付けた書類および入学検定料等は、一切、返還いたしません。
- ②改姓等により、証明書等の記載氏名が現在の氏名と異なる場合は、出願者にかかわる証明書として確認ができませんので、出願書類とともに、氏名変更の事実が確認できる公的証明書（戸籍抄本等）を必ず、提出してください。
- ③提出書類が日本語または英語でない場合は、公的機関（当該国の大使館等）により発行された原本と訳文の内容が相違ないことを証明する書類を添付してください。
- ＊大使館等公的機関での証明は、その取得に時間を要しますのでご注意ください。
- ＊中華人民共和国など、在日本大使館にて翻訳の公証業務を行っていない国・地域もありますので、大使館等のホームページ等で確認してください。
- ④出願書類に同封する各種証明書等は、原本もしくは下記の手続によって「原本照合印」を受けた証明書の写しを提出してください（写し可の書類を除く）。
- ＊「原本照合印」を受けることを希望する場合は、原本を専門職大学院教務課に持参し、その場で原本照合印の入った写しを受領してください（裏表紙に記載の受付時間内に限ります）。
- ＊原本照合印の入った写しは、所定の出願期間に他の出願書類とともに郵送していただく必要がありますので、期日に間に合うよう、余裕をもって手続してください。
- ＊出願書類に原本を同封した方で原本の返却を希望する場合は、その旨を記したメモ等を原本に付し、返信用封筒（宛先明記・切手貼付）を同封してください。
- ⑤本研究科の入学選抜において、障がいや疾病および怪我などにより受験上の合理的配慮が必要な場合、「障がいのある学生の受入れ方針」に基づき、受験時に合理的配慮を提供します。合理的配慮が必要な方は、まず、専門職大学院教務課（直通 03-3409-8025）にご連絡ください。なお、場合によっては、健康診断書等の提出を求めることがあります。

5. 入学検定料

35,000 円

コンビニ端末での 支払の場合	11頁「コンビニ端末での入学検定料支払方法」に従ってお支払いください。 支払い後、「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」の部分を切り取り「貼付用紙」に貼り付け、他の出願書類とともに提出してください。
クレジットカードでの支 払の場合	12頁「クレジットカードでの検定料支払方法」に従ってお支払いください。 支払い後、「取扱明細書」の「収納証明書」の部分を切り取り「貼付用紙」に貼り付け、他の出願書類とともに提出してください。

※出願書類受付後は、入学検定料は返還いたしません。入学検定料の振り込みだけで出願しなかった場合は、専門職大学院教務課にて返金手続をしてください。

コンビニ端末での入学検定料支払方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン

マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON Loppi

MINISTOP Loppi

<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大、専門、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学

をタッチし、申込情報を入力して「**払込票／申込券**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

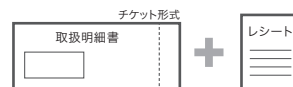
①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



②お支払い後、**チケットとレシート**の2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**払込受領証**」(Loppi)。



*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。

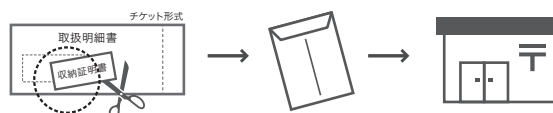
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。

*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	550円
	入学検定料が5万円以上	770円

3 出願

「**取扱明細書**」または「**払込受領証**」の
「**収納証明書**」部分を切り取り、
入試要項などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「**感熱・感圧紙**」などを変色させる場合があります」と記載のある糊は
使用しないでください。「**収納証明書**」が黒く変色する恐れがあります。

クレジットカードでの入学検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して検定料のお支払いが可能です。



PCで下記にアクセス

<https://e-apply.jp/e/gs-aoyama>

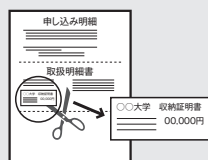
インターネット申込・クレジットカード決済

- | | |
|-----------------|--|
| 1. トップページ | 「申し込む」ボタンをクリック |
| 2. 研究科選択 | 研究科を選択してください。 |
| 3. 入試選択 | 受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック |
| 4. 留意事項 | 留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック |
| 5. 基本情報入力 | 申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック |
| 6. 申込内容確認 | 申込された情報を確認し、問題なければ「申し込む」ボタンをクリック |
| 7. 受付番号確認 | 受付番号(12桁)を控え、「次へ」ボタンをクリック
(登録されたメールアドレスにも通知されます。) |
| 8. クレジットカード情報入力 | 支払に利用するクレジットカード番号(16桁)等必要な情報を入力し、「クレジットカードにて支払う」をクリック
<small>*お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。</small> |
| 9. 決済完了 | 完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。
<small>*メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。</small> |

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



必要書類



郵便局から
郵送にて出願。



出願

【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 検定料の他に、払込手数料(税込)が別途かかります。
払込手数料(税込):30,000円未満…手数料 609円、30,000円以上50,000円未満…手数料 986円、50,000円…手数料 1,108円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。

- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

6. 合格発表

大学ホームページ「大学院入学試験等に関するお知らせ」（下記URL）にて発表します。また、合格者には入学手続要項を郵送します。

<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html>

7. 入学手続

合格者は下記の期日までに入学手続を完了してください。すべて郵送により受け付けます。締切日までの消印があるものを有効とし、締切日（最終日）を過ぎた消印のものは受理せず返送します。

2025 年 7 月 24 日（木）	締切日消印有効	【 7 月 30 日（水）】
--------------------	---------	----------------

①入学手続に関する詳細は、合格者に送付する「入学手続要項」を参照してください。

②予備日に入試を実施した場合は、【 】内の期日となります（締切日消印有効）。

8. 「入学辞退願」提出について

入学手続完了後、やむを得ぬ事情により入学を辞退することになった場合、「入学辞退届」を以下のとおり提出し、受理されたものは、入学金を除く納付金を返還いたします。

（１）「入学辞退願」用紙の請求先・提出先

青山学院大学 学務部専門職大学院教務課 会計プロフェッション研究科担当

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25 TEL 03-3409-8025（直通）

（２）「入学辞退願」等の提出について

締切日 : 2025 年 9 月 18 日（木）16 : 00 （郵送は書留扱いで締切日時必着）

提出物 : ①入学辞退願（本学所定用紙） ②振込金受取書

9. 学費等

<リカレント・コース1年制>

費 目		金額	備 考
学 費	入学金	290,000 円	入学時のみ * (ア) 参照
	授業料	560,000 円	2025 年度前期分 560,000 円
	在籍基本料	40,000 円	半期ごとに納付
	施設設備料	50,000 円	半期ごとに納付
	教育活動料	125,000 円	半期ごとに納付
	(小計)	1,065,000 円	
諸 会 費	後援会費	2,500 円	半期ごとに納付
	校友会費	30,000 円	入学時のみ * (イ) 参照
	学会費	2,500 円	半期ごとに納付
	(小計)	35,000 円	
入学手続時納入金合計		1,100,000 円	
1 年間総額		1,880,000 円	標準修業年限総額 (参考)

(消費税は課税されません)

<キャリアアップ・コース1年半制>

費 目		金額	備 考
学 費	入学金	290,000 円	入学時のみ * (ア) 参照
	授業料	560,000 円	2025 年度前期分 560,000 円 2025 年度後期分 560,000 円
	在籍基本料	40,000 円	半期ごとに納付
	施設設備料	50,000 円	半期ごとに納付
	教育活動料	125,000 円	半期ごとに納付
	(小計)	1,065,000 円	
諸 会 費	後援会費	2,500 円	半期ごとに納付
	校友会費	30,000 円	入学時のみ * (イ) 参照
	学会費	2,500 円	半期ごとに納付
	(小計)	35,000 円	
入学手続時納入金合計		1,100,000 円	
1 年半間総額		2,660,000 円	標準修業年限総額 (参考)

(消費税は課税されません)

(ア) 入学金に関し、本学学部卒業 (見込) 者及び本学大学院修了 (見込) 者は、全額免除となります。

(イ) 校友会費に関し、本学学部及び大学院出身者は、納入不要です。退学・除籍時には、校友会本部事務局 (校友センター) に申請し、返還を受けることができます。

今後、経済事情に応じ、学費等の改定が行なわれた場合には、在学生にも新学費等を適用することがあります。

10. 授業料後払い制度について

国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望する方は、以下QRコードまたはURLより申請要項を確認の上、出願期間中に必要な手続きをとってください。

※外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は対象外です。

【申請要項QRコード】



【申請要項URL】

https://www.aoyama.ac.jp/wp-content/uploads/2025/04/af_scholarship_25akiatobarai.pdf

11. 奨学金と教育ローンについて

奨学金

【貸与】

日本学生支援機構奨学金があり、入学時に学生ポータルにて募集の告知をしています。連帯保証人および保証人を必要とします（機関保証制度もあり）。返還は貸与終了の翌月から数えて7ヶ月目に開始されます。

〈貸与額〉

日本学生支援機構第一種奨学金（無利子）：月額5万円または8万8千円から選択

日本学生支援機構第二種奨学金（有利子）：月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択

※日本学生支援機構第一種奨学金には「特に優れた業績による返還免除」制度があります。在学中に特に優れた業績を挙げたと日本学生支援機構が認定した場合に、貸与終了時に奨学金の全部または一部が免除される制度です。本研究科では年に1、2名程度がこの適用を受けています。

【給付】

青山学院大学学内給付奨学金：

入学後に募集され、経済支援を必要とする学生若干名に年間授業料相当額を限度として給付します。

※外国籍の方は、それぞれの奨学金ごとに申込資格に制限があります。申請時に確認してください。

青山学院大学・銀行提携「教育ローン」

本学には、学部生・院生を対象とした銀行提携「教育ローン」制度があります。この制度は、青山学院と銀行が特別に提携し、一般の教育ローンより有利な条件を設定したものです。青山学院大学で学ぶ意志がありながら、経済的理由により修学を断念することのないよう、在学中の経済的な不安を解消し、勉学に専念できるよう配慮した経済支援制度です。

（1）特徴

①一般の教育ローンより低金利で融資を受けることができます。

②在学期間中の元金返済据置の制度もあります（在学中は利息のみを支払い、修了後、元利を併せて返済することができます）。

(2) 利用資格

本学に入学を許可された学生の保護者（または本人）で銀行の定めた資格を有することが必要です。

(3) 利用方法

①「教育ローン」の利用を希望する場合は下記のとおり必要書類を整えた上で、事前に提携銀行で融資可能かどうかの審査を受けてください（審査には2週間程度の期間が必要です）。

【必要書類】

- ・資金使途確認資料：受験票、入学手続き金確認資料（入学試験要項他）
合格後に審査を受ける場合：学費納付書、学費受領証等（入学手続き要項他）
- ・本人確認資料：印鑑証明書、住民票、運転免許証、健康保険証の写し等のいずれか一通
- ・所得確認資料：所得証明書、源泉徴収票等のいずれか一通

②融資可能となれば合格後に本学発行の合格証明書を銀行に提示して融資実行となります。（合格証明書は専門職大学院教務課にて交付申込者に発行）

③入学時手続き金等を自己資金で納入した後でも、一定期間内であれば融資を受けることができます。

(4) 注意事項

①契約はすべて銀行と融資を受ける者が行ない、融資は学費（授業料他）等の教育資金に限ります。

②銀行による、大学以外の機関の融資ですから返済を考えて慎重に判断してください。

③銀行によって、融資条件・金利等の契約内容に若干の差がありますので、契約する銀行に照会してください。

【取扱銀行】

- | | |
|------------|-------|
| ・三井住友銀行 | 全国の支店 |
| ・三菱 UFJ 銀行 | 全国の支店 |

他の教育ローン

青山学院との提携以外にも下記記載の公共機関等による教育ローンもあります。

- ・日本政策金融公庫（国民生活事業） 教育ローンコールセンター

TEL 0570-008656 （月～金 9：00～21：00、土 9：00～17：00）

ホームページ <http://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

※詳細については、上記各金融機関等にお問い合わせください。

12. 履修について

①「演習」は、少人数教育を基本としますので、入学時に研究科にて担当教員の割り振りを行います。

②1年半制入試において、一般審査で合格し、入学する場合、「リサーチ・ペーパーⅠ～Ⅲ」を履修することはできません。

13. 修了要件について

<リカレント・コース1年制>

1年以上在学し、所定の履修方法に従い、30単位以上を修得しなければならないほか、平均成績基準(GPA)が2.0以上でなければならない。また、学位論文の作成指導を受けたうえ、アカデミック・リサーチの審査および最終試験に合格しなければならない。

<キャリアアップ・コース1年半制>

1年半以上在学し、所定の履修方法に従い、36単位以上を修得しなければならないほか、平均成績基準(GPA)が2.0以上でなければならない。また、リサーチ・ペーパーの作成に必要な所定の論文指導科目を履修する者は、必要な学位論文の作成指導を受けたうえ、リサーチ・ペーパーの審査および最終試験に合格しなければならない。

12、13の記載項目およびパンフレットやホームページなどに掲載の科目配置やカリキュラムについては、すべて、現状を反映したものです。次年度以降、カリキュラム変更や科目の名称変更・追加・削除などを行う可能性がありますので、予めご了承ください。

14. 注意事項

- ①卒業（学士学位取得）見込で出願していた者で、2025年9月末日までに、卒業（学士学位取得）できなかった場合は、入学資格を満たせなかったこととなりますので、入学手続を完了していても本大学院に入学することはできません。
- ②本学学生は、他大学大学院および本学の他研究科または他専攻、並びに他大学および本学の学部と併せて在学することはできません。
- ③提出された書類の内容に偽造または著しい誇張があった場合は、合格・入学を取り消します。この場合、一旦納入された入学検定料、学費等および出願書類、入学手続書類等は返還しません。
- ④入学に際し、在留資格を有しておらず、在留資格「留学」の取得を希望する場合、在留資格認定証明書の申請から取得までに約1.5～2ヵ月の期間を要します。在留資格を保有していない方が受験する場合、新学期開始までに査証取得が間に合わない可能性があることをご理解の上、ご出願ください。なお、授業は原則対面式で実施しますので、入国できない場合は授業を受けることができません。
- ⑤受験・入学手続などに関する問い合わせは、専門職大学院教務課へお願いします。ただし、可否に関する問い合わせには一切応じません。
- ⑥試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない方は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

15. 個人情報の取扱いについて

- ①受験者の個人情報は、個人情報保護法ならびに同法の趣旨に則り定められた「学校法人青山学院個人情報の取扱いに関する要綱」に基づき、適正に取り扱います。
- ②受験者の個人情報は、入試業務ならびに当該業務に付随する連絡・通知等、本研究科の教育事業に必要な範囲でのみ使用いたします。利用目的達成後は個人データの漏洩・滅失・毀損の防止その他個人データの安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。ただし、個人が特定できないよう統計処理したデータは、文部科学省等に対し、その事業の適正な遂行に係る調査・研究のための資料として提供することがあります。

青山学院スクール・モットー
地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院大学学務部専門職大学院教務課 会計プロフェッション研究科
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25 TEL:03-3409-8025(直通)
【受付時間】 月～金 9:00～17:00 / 土 9:00～13:00 (いずれも 11:30～12:30 を除く)